

横浜市立上白根中学校 平成31年度 体育・健康プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
○全教職員が持ち味を生かし、主体的に学校経営に参画することで、チーム力を生かした活力のある学校作りを目指します。
○子どもの学力を正確に把握し、実態に応じた学習計画を立て、学力向上に繋げられるような実践を行います。
○外部人材資源を導入し、個に応じた学習支援や特別支援を推進します。
○子どもが抱える心の課題に向き合い、小中学校が連携した児童生徒指導体制や特別支援教育を推進します。

(2) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体	・自分自身の健康のことを考え、運動能力を伸ばせるような体力作りを推進する。	・生徒一人ひとりが自ら健康のことを考え、運動能力を向上させるような目標をもって実践できることを推進する。 ・運動することの楽しさを学級単位の長縄飛び等を通して実践し、体力向上の取り組みのひとつとする。 ・学区小学校や地域とともに全校ラジオ体操を実施し、体育活動を通じた学校・家庭・地域の連携を図る。
担当	保健体育科・ 養護教諭	

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・朝食の摂取率が低く、弁当の栄養バランスも偏りがちで菓子パンの購入も多い。
- ・真面目に授業に取り組むがじっくりと思考する力が弱い。
- ・体育科授業や部活動の中での骨折等の怪我が多く、体調不良による保健室利用も多い。

(2) 体力の概要と要因の分析

- ・体力テストの結果では、概ね体力的な課題は少ないが、**日本体育大学との連携事業**でヘモグロビン貧血と骨密度検査を行い、食生活の改善や基本的な生活習慣の見直しを考える全校集会を持っている。本校保健安全委員会と日本体育大学研究室による相互の検証を行い、今後の健康維持、体力向上に繋げていく。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科・保健体育科での取組》

- ・体育科では年間カリキュラム導入で「集団行動」を取り入れている。これは安全配慮を生徒に徹底指導するための姿勢を養う方法である。また体力作り運動として「ラジオ体操」を導入し、家庭や地域連携を図っている。

《健康・食育での取組》

- ・家庭科調理実習を通じ、食育の大切さを生徒に伝えている。

道徳・特活・総合

- ・体育祭実行委員会では体育的な行事を企画・運営し、生徒の体力向上を図るとともに、体育祭では保健体育科で培った資質能力を生かす。
- ・保健安全委員会では、**中大連携事業**を通じ、科学的検証のもと、生徒が学校生活を健康で安全に過ごせるような取り組みを実施している。

課外活動

- ・休み時間、体育祭に向けての大縄跳びの練習を実施している。
- ・部活動では、小学生が部活動を体験する小中交流会を実施している。

平成31年度 上白根中学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 上白根流ラジオ体操の実施・中大連携事業の実施

《ねらい》 ラジオ体操を通じ運動の楽しさを実感するとともに、自らの健康の科学的分析を知り、今後を生かす。

《内容》 上白根流ラジオ体操は、小中連携・学家地連事業として実施する。

日本体育大学との連携事業は、学校保健委員会として中学生・保護者・大学生を交えて実施する。